

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	平成25年度	回 数	第19回
日 時	平成26年2月25日 午前9時30分～11時00分		
場 所	庁議室(本庁舎 3 階)		
出 席 者	<p>渡部市長 荒井副市長 森教育長 榎本議会事務局長 諸田経営政策部長 當間総務部長 清水市民部次長 山口健康福祉部長 小林子ども家庭部長 西川資源循環部長 野崎都市環境部長 曾我教育部長</p> <p style="text-align: center;">欠席者:なし</p>		
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 報告事項 (1) 大雪に関する状況(被害)について</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p>		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

前回の経営会議の直前に都知事選挙とぶつかって大雪が降った。さらに14日にも大雪が降り、市内でも奥多摩・青梅等では数日前まで孤立地域があるという大変な被害があった。昨日の担当者会議で、東電の人が言うには、「孤立地区は解消された」と報道されているが、一般車両が自由に行き来できる状況ではない。とりあえず緊急車両の通行と電気が確保された状況」だそうだ。おそらく東京の雪害としては最大の被害だったと思う。二度にわたる大雪に見舞われ、都市環境部や防災安全課を中心とした市民部、学校等、選挙事務等で対応に追われたりと、大変ご苦労様であった。改めて御礼申し上げたい。市の施設関係では、保育園で職員用の駐輪場の屋根が落ちたり、第6保育園で雨漏り等の被害が出た。施設としては軽微な被害だったが、市民でもカーポート等の屋根が崩落したり、農業用ハウスにかなり大きな被害が出た。昨日、農業者クラブ総会後の懇親会で、「何とかしてほしい」という話をいただいている。3月定例会でも雪害に関する質問も受けている。しっかり対応しなければならない。最近では想像もつかない風水害や大雪がある。緊急時の対応を全庁的なルールで定めていく必要があると考えている。

2月20日に東大和市の南街で通学途上の女子高生が男とすれ違いざまに突然刃物で腕を刺されるという通り魔事件があった。犯人が逃走しているということで、東大和市役所の防災所管から、当市の防災に一報が入った。関係所管と協議して、小中学校、保育園、幼稚園等の子ども関連施設で屋外の遊びや授業を自粛していただいた。犯人逮捕までは集団登下校、学校関係者・職員のパトロール、防犯協会へのパトロールを依頼、青パト等での広報活動という対応を取った。翌日には犯人が逮捕されたので、その日の下校時から通常対応に戻った。何事もなく良かったと思っているが、昨年を振り返っても、多摩地区でもこのような事件が武蔵野市の吉祥寺等、何ヶ所かで発生している。無差別的な事件が発生した場合も、どのような対応をするのか、一定のルールを決めておかなければならないと思っている。今後検討していただきたい。

農業関係の雪害は東京だけではなく関東全域にわたるものであり、国も救済策を昨日出したとの報道が一部で流れた。詳細は不明だが、今後はそれらを踏まえて東京都や他市の状況を見ながら、対応の有無を含めて判断しなければならない。いずれにせよ大雪や通り魔等、新たな危機要因があると痛感した2週間だった。

明日から3月定例会である。今回からルールも若干変わったが、今まで通り、的確・簡潔に対応していただきたい。

2. 報告事項

(1)大雪に関する状況(被害)について

市民からは15日(土)に集中した。「車が出ないから家の前を」という話が多く、それはお断りした。「カーポートが壊れた」という件は業者を紹介した。市内11ヶ所の緑地で倒木等職員対応できないものがある。車がぶつかったと思われるカーブミラー等の破損が多数出ている。

1回目の7～8日の時と、14～15日では、今思えば2回目の方に想定が甘かったのは間違いない。1回目は選挙があったので、投票所が開設できないという事態が発生したら大問題であり、ある程度選挙用の費用も使って大きな混乱もなかった。

これは、当市の都市構造として雪だけの問題ではなく、おそらく大震災で瓦礫が散乱すれば同様な事態が起こると感じた。重機を確保するならば、雪だけではなく瓦礫にも対応できるものを考えなければいけないかもしれない。それを市役所が持つべきかの議論もあるが、設備・装備関係はそれも視野に入れなければならない。今後、どのように考えていくか。豪雪も含めて災害時に、緊急車両が動けないのは課題だ。

災害対策本部の立ち上げは、地震は震度での規定があるが、雨でもまだない。竜巻は突然起こるから風害の対策本部は後追いしかできないが、雨と雪は事前におおよその予報が出る。参集できない状態で立ち上げるのは無理だ。事前に、例えば降雪10センチならやる、としなければ、参集できないし、歩くにも平時の3倍くらいかかってしまう。予報等で本部を立ち上げて、一定の対応を取る前提にしなければ後手に回ってしまう。

不特定多数にどのように伝えるかの連絡体制も課題だ。通り魔の際にも防災無線を鳴らすかどうかでやりとりした。まだ一部エリアは旧の無線を使っている。3.11の経験では1回鳴らすと「何を言っているのかわからない」という問い合わせが600件来た。不用意に鳴らすと市役所の電話が機能しなくなる。鳴らすならばコールセンターを立ち上げなければ厳しい。システムが完備されれば、鳴らしたことへの質問に回答できるシステムができるので、有事にすぐに防災無線で流せるが、それまでの間をどう繋ぐかだ。防災無線を鳴らすことに所管も躊躇する。ホームページやツイッターだけではデジタルデバイトで高齢者には伝わらない。それをどのようにフォローするかも課題だ。

総務会議で検討してほしいが、雪であれ何であれ、災害ならば防災が仕切ってほしい。誰かが音頭取りしなければならない。各部で動いても統一的な動きは取れない。総務会議で市民部の次長が仕切ってほしい。本日の経営会議ではそのように集約する。

3. その他

〈タウンミーティング〉

タウンミーティングの所管回答を3月6日までにお願います。

〈人事関係〉

短時間勤務の再任用職員について、2月28日（金）に内示を予定している。職員の人事異動は、3月20日を予定している。

4. 閉会(副市長)